

広島県立総合体育館進相コンデンサ等取替工事仕様書

1 適用範囲

本仕様書は、「広島県立総合体育館進相コンデンサ等取替工事」に適用する。

2 工事概要

県立総合体育館受変電設備進相コンデンサ等の取替を行うものである。

また、同コンデンサは微量 PCB の含有が否定できないものであるため、発注者に引き渡し、処分は施設所有者の広島県が行う。

(1) 工事名称

広島県立総合体育館進相コンデンサ等取替工事

(2) 工事場所

広島県立総合体育館(広島市中区基町4番1号)

(3) 工期

契約の翌日から令和8年3月26日まで

(4) 工事内容

ア 放電コイル取替

- ・ 6台撤去(メーカー:ニチコン、品番:CD662501KCE1)
- ・ 4台更新(モールド、6.6kV、1000kVar)

イ 直列リアクトル取替

- ・ 6台撤去(メーカー:ニチコン、品番:CR662321KX39957)
- ・ 4台更新(モールド、243V、60Hz、12.8kVar、L=6%)

ウ 進相コンデンサ取替

- ・ 6台撤去(メーカー:ニチコン、品番:AF712321KYA0641B)
- ・ 4台更新(窒素ガス、7.02kV、60Hz、213kVar)

エ 自動力率調整器取替

- ・ 1台撤去(メーカー:三菱、形名:MICAM-VARIII)
- ・ 1台更新(参考形名:VAR-6A、ブランクパネル取付けを含む)

オ コンデンサ盤改造費用

- ・ 4面(機器取付け穴造作(加工)KIP電線施工含む。

カ 処分費

- ・ 1式(コンデンサを除く)
- ・ コンデンサ6台については別途広島県が行うので、引き渡すこと。

3 共通事項

- (1) 施工に先立ち施工計画書を提出すること。
- (2) 現場代理人及び主任技術者等指名届を提出すること。
- (3) 1系、2系の更新は引き続き行うものとし、安全設備を状況に応じて設置すること。
- (4) 疑義・問題が生じた場合は、速やかに監督員に協議すること。
- (5) 本工事において発生した廃棄物等は、すべて受注者において適切に処分すること。
- (6) 工事完了後は、完成通知書を速やかに提出し、検査を受けること。検査により修補を求められた場合には、速やかに修補を行い、修補完了通知書提出後再検査を受けること。

- (7) 本仕様書に記載されていない事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」「公共建築工事標準図(電気設備工事編)令和7年版」によること。また、改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年度版」及び標準図によること。
- (8) 本仕様書及び各共通仕様書に定めのない事項は、協議すること。

4 提出書類

- (1) 完成図書 2部
- (2) 工事写真 2部
- (3) 電子データ(完成図・施工図・工事写真) 2部また、契約約款に基づく書類も提出すること。